

平群

Heguri

≡ 議会だより 6月定例会

No.252

平成27年8月1日
発行：奈良県平群町議会

第3回定例会(6月)

議決結果	2
質疑あれこれ・議員提出議案	3~7
町政を問う!	8~13
町の話	14



給食だ〜い好き！とってもおいしいよ♪♪ (ゆめさと子ども園ランチタイム)

第3回定例会 こんなことが決まりました

平成27年第3回定例会は、6月9日から19日の11日間の会期で開催しました。町議会議員選挙後、初めての定例会でした。

初日の9日は、町長提出の6議案（専決処分の承認案件1件、条例改正案2件、補正予算1件、請負契約の締結1件、選任同意1件）が上程され即決しました。

また、選挙管理委員及び補充員の任期満了に伴い、4名の委員と4名の補充員を指名推選しました。

一般質問は16日、17日に行われ10人の議員が質問しました。

最終日は、議員提出の議員報酬を削減する条例改正案を否決。さらに議会の会議規則で議員が出席する場合、欠席の届出を新たに規定することと、議会傍聴の安全性を考慮、杖の持ち込み可能等3件が可決。

また、認知症問題や国の課題になっっている安保健法問題の意見書等3件が提出され、2件が可決1件が否決になりました。



議決結果賛否一覧

○賛成 ●反対 (議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します)

提出区分	議案名	議決結果	山本隆史	城内敏之	井戸太郎	森田勝	稲月敏子	植田いずみ	山口昌亮	山田仁樹	高幣幸生	窪和子	馬本隆夫	下中一郎
町長提出議案	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)について)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成27年度平群町一般会計補正予算(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群小学校体育館耐震補強及び大規模改造工事の請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案	固定資産評価員の選任に同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	否決	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	
	平群町議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町議会傍聴人取締規則の一部を改正する規則について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町公告式条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	子ども医療費助成制度など地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書(案)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認知症への取り組みの充実強化に関する意見書(案)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
選挙	集団的自衛権の行使を具体化する戦争法案については廃案にすることを求める意見書(案)	否決	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	
	選挙管理委員の選挙について	指名推選	結果は、8ページをご覧ください。											
	選挙管理委員補充員の選挙について	指名推選	結果は、8ページをご覧ください。											
	奈良県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	投票	投票総数12票 有効投票12票 ・森田 瞳(安堵町)9票・青木義勝(広陵町)0票 ・堀口 誠(黒滝村)0票・木澤正男(斑鳩町)3票											

質疑あれこれ

6月議会に上程された議案及び
質疑の主なものを紹介します。

専決処分 27年度住宅新築資金等貸 付事業特別会計補正予算 (第1号)

1041万5千円の歳入不足
になるため、27年度会計から1
041万5千円を繰り上げ充用
するもの。

主な質疑

質問

住宅新築資金等貸付事
業で、26年度決算時点の貸付事
業債の残高、住民の未返済残高
と滞納額は。

答弁

地方債の償還残高は、
26年度末で5857万2639
円。これは34年度で償還終了。

27年度以降の返済予定の残金
は、宅地取得が35件、住宅取得
が37件で1億4005万259
1円。そのうち償還未到来分が
4679万1814円、滞納残
金は宅地取得が20件で3589
万1997円。住宅新築資金は
22件で5736万8780円。
滞納合計は、42件9326万7
77円。

質問

国への償還額は、26年
度に比べ5千万円台まで減って
いる。基本的には34年度に閉鎖
するが、全て償還できるのか。

答弁

地方債の償還は34年度
に終わるが、一部滞納があり債
権の回収に努力している。

26年度の地方債の元利償還金2
224万円は、30年度には56
0万円になり収支も改善するの
で、償還終了の34年度は黒字に
なると予想している。

分納している方もあり34年度以
降にも償還は発生するが、滞納
している方には公正証書等を
取っており、最終的に回収でき
る見込み。

平群町国民健康保険税 条例の一部を改正する条例

課税限度額の引上げで、28年
度より医療分を51万円から52万
円に、支援金分を16万円から17
万円に、介護分を14万円から16
万円に改正。

また、減額措置は5割軽減の対
象となる世帯の軽減判定所得の
算定を、被保険者の数に乗ずる
金額24万5千円から26万円に、
2割軽減の基準は、被保険者の
数に乗ずる金額を45万円から47
万円に改正するものです。

主な質疑

質問

課税限度額の引き上げ
は、28年7月の納付書送付分か
らになる。2番目の軽減措置
は、27年度から。配当所得を利
子所得、配当所得及び雑所得に
改める分は、28年1月1日から
となっている。施工期日が平成
29年1月1日からとあるのはど
ういうことか。

答弁

25年12月第5回定例会
で、平群町国民健康保険税条例
の一部を改正する条例で施行日
を29年1月1日と可決された。
今回この部分のみを1年前倒

しをし、28年の1月1日に改め
るとのこと。

質問

配当所得を利子所得、
配当所得及び雑所得に改めると
どういった影響があるのか。

答弁

国保税に関しては、影
響がない。

質問

28年度から課税限度額
が改正されるので、27年度は直
接影響しないが、総額でいうと
4万円も上がり81万円から85万
円になる。

質問

どれだけ収入があれば限度
額がいつばいなのか。いくら以
上からそうなるのか。4万円収
入が増えるが影響額はいくら
か。

答弁

限度額は26年度77万円。
27年度81万円。28年度から85万
円になる。

一人世帯でご主人と奥さんが無
職無収入で医療分の収入を試算
すると、給与所得で約726万
円、27年度であれば約712万
円、収入に直したら28年度の7
26万円の所得は約940万
円。

質問

27年度の所得で712万円
は、給与収入で約924万円。

限度額

	医療分	支援金分	介護分	計
27年度	51万円	16万円	14万円	81万円
28年度	52万円	17万円	16万円	85万円

軽減所得判定

	7割軽減基準額	5割軽減基準額	2割軽減基準額
26年度	基礎控除額33万円	基礎控除額33万円+24.5万円×被保険者数	基礎控除額33万円+45万円×被保険者数
27年度	基礎控除額33万円	基礎控除額33万円+26万円×被保険者数	基礎控除額33万円+47万円×被保険者数

支援金分、介護分あわせて18世帯で約120万9千円の影響があると試算している。

質問 5割軽減、2割軽減についても影響が出て来るが、どう試算しているのか。

答弁 26年度5割軽減は273世帯が289世帯になり16世帯の増加。2割軽減は、394世帯が改正後は415世帯になり21世帯の増。

金額にすると軽減額は、5割軽減で現行981万3千円が約1026万8千円になり、保険税は約45万5千円減少する見込み。

2割軽減は、現行506万7千円で改正後が526万4千円になり、保険税は約19万7千円減少する。合計で約65万1千円減の見込み。

質問 影響額は65万円程度ということだが、国保会計に影響はないのか。

答弁 国保会計は軽減分が一般会計から補填されるので、影響はない。

質問 昨年度の国保会計の収支の説明を。

答弁 形式的収支は、約230万円の黒字。27年度は、26年度の繰越金があり、実質単年度収支は、約9800万円の赤字になる。

質問 平成20年度から26年度まで、7年間の償還金すべてをみたなかで、実際に各年度の収支はいくらか。9月の決算でぜひ出したい。

答弁 償還金は、翌年度で会計上精算されるため、これまでそういう数字を出したことはないが、試みたい。

平群町介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、第1段階の保険料を公費で軽減する文言を追加するために必要な改正をするものです。

主な質疑

質問 介護保険の見直しは3年に一度なのに、今回なぜ27年28年と見直すのか。改選後初めて



の議会なので、もう少し丁寧な説明を。

答弁 4月10日付で、介護保険の国庫負担金の算定に関する政令の一部を改正する文書が出され、第1段階の所得の方は、第6期の介護保険計画の中で、27年・28年の保険料は、公費を投入し45%に軽減する。

本来は3万1300円のところ、公費を投入して2万8200円になるといことがわかる表現にしない。という文書を受けて今回改正をしたもので、全国の市町村で一斉に条例の改正が提案されている。

また、社会保障審議会の中で、29年度にはさらに軽減措置を講じると提案をしているが、現時点では、まだ確定したものではありません。

質問 決まっていなくても、こういう理由で1号被保険者の介護保険料を算出したという説明を

議会でするべきではないか。差額分について、財源はどうなっているのか。

答弁 差額分は国が50%、県と町が25%ずつ負担をし、一般会計の中に繰り入れるとの報告を受けている。

27年度平群町一般会計補正予算(第2号)

今回の補正は、歳出で再生可能エネルギー等導入推進基金事業(グリーンニューデール基金事業)の補助採択に伴い、プリズムへぐり、野菊の里斎場、活性化センター道の駅に太陽光パネル等の設備導入に係る測量設計費660万円。旧南保育園用地の筆界整理に係る測量設計委託料143万6千円。都市下水路用地の整理に係る調査費91万4千円。旧西小学校用地の整理に伴う用地購入費12万円。中学校大規模改造事業で空調整備に係る工事請負費269万8千円減額。

歳入は、国庫補助金で中学校空調整備補助金が不採択となり学校施設環境改善交付金269万8千円減額。再生可能エネルギー等導入推進基金事業費県補

助金の予算措置645万円。歳入不足分は、財政調整基金から637万1千円を繰り入れ、歳入歳出予算総額は、74億1077万6千円となります。

主な質疑

質問 グリーンニューデール基金事業の概要と、対象期間はいつまでか。

答弁 環境省の基金事業で、防災拠点や避難所となる公共施設での災害時のエネルギー確保を目的に、太陽光発電施設などの再生可能エネルギー設備と蓄電池の整備に補助が行われるもので、28年度で終わると事業と認識している。

質問 中学校の大規模改造事業のエアコンの設置で、補助金が不採択になった理由は。

27年度でエアコン4カ所の設置を見込んでいたが、できるのか。費用は一般財源で補填するのか。

答弁 全国的に耐震工事が進捗していないため、補助金が優先して耐震化工事に回るため。当初予定していたエアコン設置

は非常に難しく、中学校に優先順位を聞いて、残る財源の中で実施する。この269万8千円の減額分を改めて一般財源で補填するようご要望はなご。

質問 中学校の学校施設環境改善交付金が不採択になったが、起債はそのまま付くのか。

回答 エアコンは4教室で6基ということになってしたが、どうなるのか。

質問 起債は約360万円、計画どおり認められる。

回答 6基のうち4基は実施できると考えている。

質問 西小学校の跡地の公有財産購入費は、109平米が12万円というのか。

回答 対象物件は個人の私有地。公簿上は109平米と説明していたが、以前に地権者と協議し、実測40平米で12万円と確認をしている。

質問 登記関係等はどのようにするか。

回答 嘱託登記は町です。地権者にも了解を得ている。



質問 再生可能エネルギー導入推進基金事業で、3つの施設に太陽光パネルを設置するが、各施設の規模と、どれぐらいの電気を賄うことになるのか。

回答 100%国庫補助だが、設置費用はどのようになるのか。

質問 3施設の太陽光発電量は、それぞれの10キロワットのパネルを設置する。15キロワットの蓄電池もあわせて同じ発電能力を持ったものを設置する。

回答 1日の発電量が約29キロワット程度、年間で約22万円の効果が期待できる。それぞれ3施設とも電気の使用量はすべて異なるが、設置をするパネルについては同じ規模。

質問 基本的に100%の補助事業。

回答 太陽光発電を設置する施設は、一定の年数を経ている。100%国庫補助で設置される

ても、その設置に伴う施設の補修は町で負担しなければいけない。

質問 この3施設は、補修しなくても設置できるのか。

回答 3施設は、長寿命化の調査をしている。

質問 設置場所は、測量設計と現地調査も行い、当然必要があれば対応していく。

質問 設置をしたら10年、20年と使う設備。設置後に補修しなければならぬとなると、倍以上の修理費用がいる。その辺はどう考えているのか。

回答 プリズムへぐりは、建設してから十数年が経過しており、設置場所も屋上で、雨漏り等も懸念される。太陽光パネルを乗せるため補修が必要かどうかは、現地調査する。

質問 太陽光パネルを設置してから補修するのは、物理的にも不可能。現場確認をして補修が必要かどうかを判断してから、太陽光パネルの設置工事をする。

回答 スポーツセンター横の防災拠点のときは、蓄電設備は高額なので設置しないと聞いた

質問 スポーツセンター横の防災拠点のときは、蓄電設備は高額なので設置しないと聞いた

が、今回なぜ蓄電設備をするようになったのか。

回答 補助メニューの中で、基本的に施設で発電した電力は、施設の中で使用するのが前提。

質問 一定の蓄電機能が必要という国の見解のもと、災害時において電力の供給が遮断された場合、各施設に必要な最低限度の機能を維持するために、再生可能エネルギーの発電設備とともに、蓄電池は非常に有効になるので導入を考えている。

質問 スポーツセンターは、町全体の防災拠点。15キロワットは少ないのではないか。

回答 プリズムへぐりは、非常発電設備がある。誰が考えても野菊の里斎場より、防災拠点の施設に先に設置するべきではないか。

質問 そういうことも含めて、予算編成や、国の補助金確保について話し合っていたらいい。

回答 プリズムへぐりは災害時の医療拠点の施設、野菊の里斎場は施設の性格から、災害時には稼働が急がれる施設である。

質問 道の駅は避難所で、それぞれ施設の機能がある。

回答 また、3施設は町が管理する

施設の中では、比較的建築年度が新しく耐震基準に則って建築された施設。

質問 この再生可能エネルギー事業は、今後どう推進されるかわからないが、有利な補助メニューである。これを活用しながら公共施設の整備を図っていく。

質問 太陽光パネル3件設置の補正予算額は、測量設計だけでなく長寿命化も含めた測量設計も入っているのか。

回答 今回の補正予算は、あくまでも太陽光パネル設置に係る測量設計費。

質問 国に出した工事費の試算金額はいくらか。

次ページに続く



ガンバタイム (ゆめさと子ども園)

答弁 3施設合計で9400万円。

質問 プリズムへぐりと道の駅は南面に設置可能と思うが、野菊の里斎場は山の斜面があるので、南面への設置は可能なのか。

また、防水のやり直しや補強工事の必要が出てきた時、町の単独費としての施工が必要になる可能性があるが、設置が困難になった時、工事をやめることは可能なのか。

答弁 実際に調査、設計をしないと確定的なことは言えないが、この3つの施設は、問題ないという判断で今回申請をし



質問 建物がそれぞれ形状も状況も違うが、3か所とも設計費が同じ金額になっている。これは、国からの指導のもと計上されたのか。

答弁 専門業者からの聞き取りで、1か所約200万円というところで計上した。概算で計上しているが、発注に当たっては、十分精査し業務発注する。

質問 平群中学校で初めて蓄電池が設置された時、蓄電をした電力は施設内の街路灯等で活用するとなっていたが、この3施設すべて街路灯で活用されるのか。

また、何基設置するのか。

答弁 3施設の中で街路灯の設置は、プリズムへぐりと道の駅を予定している。これはLED灯の設置で、3から4基程度の設置。

質問 野菊の里斎場は、どのような活用方法になるのか。

答弁 通常は施設内の電力として使用、災害時には、最低限必要な施設内の電気器具、設備器具の電力消費のため設置する。

質問 26年度末の財政調整基金の残高はいくらか。

また、一般会計の実質単年度収支は1億3680万円。昨年11月の住民説明会のシミュレーションでは、それより約1億円多かつたのに、実際は1億円少なくなつたのはなぜか。

答弁 26年度の決算見込みは、2億8000万円を超える基金残高となっているが、いまの財政調整基金の残高は約1億7800万円。

26年度の決算状況は、分析中。

質問 平群町がなぜ今のような財政状況になつたかの分析が弱い。

人口の減少とともに高齢化が進み現役世代が減り、収入となる個人住民税も20%以上落ちている。

本当に無駄を削っているのか、きちんと分析しない限り財政状況は良くならない。

26年度の決算見込みは、収支はほとんどになると言っていたのが、1億3000万円の赤字になつたというのは、分析が甘すぎるのではないか。

25年度決算と町の分析はどう

だったのか。その分析から何がでてきたのか。町として出した分析をきちんと議会に出して明らかにするべき。

答弁 確かに財政状況が好転した要因はいくつかある。

決算の分析は、今後しっかりと進める必要があるが、改めて報告をする。

平群小学校体育館耐震補強及び大規模改造工事の請負契約の締結

平群小学校体育館耐震補強及び大規模改造工事の工事請負契約、2億7864万円を締結するものです。

主な質疑

質問 何社で入札したのか。

答弁 一般競争入札で2社の応札があつたが、1社が辞退をしたので事実上1社。

質問 この概要書に太陽光発電と書かれているが、どうのことか。

答弁 平群小学校の体育館の



屋根部分を耐震工事し、その際に太陽光発電を設置する。

質問 グリーンニューディール基金事業の太陽光パネルは、30キロワットで約1億円かかるが、平群小学校は50キロワットで3200万円。どういふ計算方法か。

答弁 3200万円と設計業者から聞いている。

体育館の屋根を全部取って、新しい屋根を設置するのでコストも違う。

質問 1日当たり発電量が50キロワットということは、年間どのくらい経費縮減になるのか。また、老朽化に伴う改修工事とあるが、具体的な説明を。

答弁 太陽光発電の発電効果は、太陽光の状況や日射の関係で100%効率よくいくかどうか

議員提出議案

平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について

提出者 高幣 幸生
賛成者 窪 和子
賛成者 馬本 隆夫
(否 決)

平群町議会会議規則の一部を改正する規則について

提出者 高幣 幸生
賛成者 森田 勝
(原案可決)

平群町議会傍聴人取締規則の一部を改正する規則について

提出者 高幣 幸生
賛成者 森田 勝
(原案可決)

平群町公告式条例の一部を改正する条例について

提出者 高幣 幸生
賛成者 森田 勝
(原案可決)

子ども医療費助成制度など地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書(案)

提出者 窪 和子
賛成者 高幣 幸生
(原案可決)

認知症への取り組みの充実強化に関する意見書(案)

提出者 窪 和子
賛成者 高幣 幸生
(原案可決)

集団的自衛権の行使を具体化する戦争法案については廃案にすることを求める意見書(案)

提出者 稲月 敏子
賛成者 山口 昌亮
賛成者 植田いずみ
(否 決)

かはわからないが、月当たり約10万円から15万円。年間で100万円くらい。
大規模改造工事の概要は、外壁、外のスロープ、玄関周り、トイレ、扉、床、椅子の収納台、壁、照明、放送機器、消火設備で、ほぼ全面的リニューアル。

質問 スケジュールでは、どのくらいの工事期間か。

答弁 工期は、約5カ月で11

月頃竣工。

質問

小学校体育館の太陽光パネルは、太陽光発電の部分だけをグリーンニューデール基金事業でやるという方法を考えなかったのか。

あとからでも補助事業があるということがわかれば、耐震工事を分離してできなかったか。

答弁 平群小学校の体育館の太陽光発電は、耐震工事とその他大規模工事と一体的なもの。

設計段階から複数年度やっているんで、補助率も100%ではないが、かなり有利に太陽光発電が設置できる。



質問

平群町の財政状況が大変で無駄をなくし、できるだけ収入を増やす。そればかりこの議会でも議論している状況なのに、財政にとってより有利な方法を考えるのは、政策推進課ではないか。

答弁

政策推進課では事業の詳細は承知をしていなかった。今後、庁内の連携を強化する。



ミュージックベル「へぐりRing」七タコンサート(子育て支援センター)

町政を問う! 一般質問一覧

稲月議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一人親家庭の応援のために教育支援を充実させることについて 2. 本年4月に開園したゆめさとこども園について 3. 有害獣対策について
山口議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「戦争法案」について 2. 公立小中学校の教科書選定について 3. 住民の暮らしを応援する財政健全化施策を
山田議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人口増施策・若い世代の定住促進について 2. 総合戦略室の新設を
窪議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企業等との連携協定で地域活性化を 2. 子ども医療費の窓口立替え払いの廃止を 3. ファミリー・サポート・センターの設置を 4. 生活困窮者自立支援対策について
馬本議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 矢田山に東西の道路を 2. 平群町公共交通空白地域の解消について
山本議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 救急医療情報キットについて
植田議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学童保育の充実について 2. 小中学校へのエアコン設置とトイレの改修の早期実現を 3. 障害者控除対象者認定申請書の周知について
井戸議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小型モビリティ(セグウェイ等)の実証実験を 2. 安全な通学路確保のためのLED照明の更なる増設について 3. 「個人情報管理する町職員の職務場所における自ら管理する投稿サイトへの投稿の禁止、罰則に関する条例」の制定を
森田議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 耕作放棄地の解消策は 2. 町内の土砂災害特別警戒区域の指定は 3. 広域農道沿いの直売場の再開は
高幣議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平群の再生へ、小さな声、住民の声です 2. その後の町創生政策について



中島 伊三郎 氏
住所 奈良市菅原町

中島伊三郎氏を固定資産評価員に選任することを、全会一致で同意しました。

同意

選挙管理委員及び補充員の選挙

選挙管理委員及び補充員の任期が8月29日で満了するため、各4名の委員と補充員を指名推選しました。

選挙管理委員会委員

氏名	住所
井田和夫	平群町西宮
西山正清	平群町樺原
安田朝四郎	平群町梨本
白井忍	平群町福貴畑

選挙管理委員会委員補充員

順位	氏名	住所
1	高塚保夫	平群町西宮
2	吉田知子	平群町信貴畑
3	水船徹	平群町菊美台
4	米田美知代	平群町三里

議会の動き

議会運営委員会 5月27日

- * 平成27年平群町議会第3回定例会の議会運営について
- * 議会基本条例の検証について

一人親家庭の教育支援充実について



稲月 敏子

質問

所得格差は年々広がり、特に一人親家庭の生活が大変厳しくなっています。DVが原因の離婚など深刻なケースも増えています。

多くは、時給の安いパートを掛け持ちして「生活費や子どもの教育費をと、頑張っています。」

子どもの祖父母家族と同居のために児童扶養手当が受給できないケースもあり、祖父母家族の生



活も犠牲になっていま

す。自立した生活を送っていただくためにも経済的な支援がまず必要と考えます。

「子どもの貧困」は大きな社会問題になり、学力不振、不健康、虐待など

の原因にもなっています。このような状況をなくしていくための手立ての一つとして、以前に実施されていた一人親家庭の教育支援制度を復活させるべきです。

困っている若い人たちを応援する「暖かい心」で施策を講じてこそ若い世代が平群町に住み続けられるのです。

答弁

財政健全化政策のもとで個人給付はできない。

一人親を支援する様々な国の制度も充実されてきている。

就労支援や相談事業なども充実させていきたい。

公立小中学校の

教科書選定について



山口 昌亮

質問

来年度から使用する中学校教科書の選定が行われているが、平群町の教科書採択について、手続きと方針はどのようなになっているのか。

今年度からの新教育委員

会制度のもとで、首長と教育委員が協議・調整する「総合教育会議」を設置して、教育行政の基本的方針を定める「大綱」を首長が策定することになった。

この新たな教育行政の

もとても、教育委員会や子どもたちを直接指導する教員の意見を尊重すべき。新制度のもとで、教育への政治介入が危惧されるが、教科書選定に首長の意向が反映されることはないのか。

答弁

平群町の教科書採択は生駒郡4町で構成する第四採択地区として、各町の教育委員会と郡PTA、郡保護者の代表で協議会を設けてすすめる。

具体的には、教科ごとに各学校の教員らがまとめた「調査研究報告書」等を参考に採択地区協議会で協議し選定する。

採択権は教育委員会にあるが、教員や地域住民の声も尊重し公平・中立に採択されるよう努めている。

総合教育会議では、教科書採択や教職員の人事は協議の対象にならない。



総合戦略室の新設を



山田 仁樹

質問

若い世代の定住施策の成果、効果について実証調査及び定住施策制度の調査研究、新たな戦略、国や他自治体の動向を見極める(仮称)総合戦略室の新設を提案します。県は現在、色々な角度視点から統計をまとめ、今後の対策と改善に取り組みられています。町は、26年度より、定住促進の新規事業として



固定資産税の3年間キャッシュバック事業や高校1年終了までの医療費無料事業を実施しましたが、今後そのことによる人口増状況の成果、効果についての実証調査はどのようにお考えでしょうか？

(仮称)総合戦略室の業務は多方面での行政知識ノウハウも多く必要であり、事務職として再任用されている職員の方々の登用する事で、充実した有意義な部署になり、課題やより必要な施策、町の方向性も明確になつて行くと思われればいいでしょうか？

答弁

現時点では検証に至っていないが今後実施する「住民意識調査」等において住民評価を実証していきたい。また、行政課題の現状分析等は現在の政策推進課を中心に対応していく事で同様の機能が果たせると考えている。

子ども医療費の

窓口立替え払いの廃止を



窪 和子

質問

少子化の進行は深刻で、平成26年の合計特殊出生率が1.42となり、9年ぶりに低下。奈良県では1.27と全国で3番目に低く、平群町では1.02という現状です。

町では、子ども医療費は通院・入院とも、高校1年生終了まで無料です。しかし、窓口で一旦、立替え払いをしなければならず、現物給付方

式ではありません。子どもが病気になる時に、お金の心配をしなくても病院で受診できるよう、窓口での立替え払いを廃止し、保護者の経済的負担を軽減する必要があります。

今、国も現物給付方式



に科しているペナルティの見直しや、国保の財政運営が県への移行に伴い、実現できる大きなチャンスではないでしょうか。

答弁

窓口無料化の現物給付方式に変更されることが望ましいと考える。町としてもこれまで、

「子ども医療費の対象拡大と併せて現物給付方式への変更」を県に要望し、国への働きかけを求めてきたが、今後さらに県に強く働きかけていく。国のペナルティが無くなれば、国保が県との共同運営になることもあり、県下一斉に現物給付方式に転換できると考えている。

平群町公共交通空白地域の 解消について



馬本 隆夫

質問

公共交通空白地域の解消として、平成23年度からコミュニティバスが

試行運行されています。平成26年度の検証では、西山間ルートは目標

基準の約97%で運行継続・1人の町負担額は

743円、また、北・南北循環ルートの1人

町負担額は2179円、そして南ルートでは、1人町負担額は1

243円で、最低需要

が満たされています。



基準は約81%で達成できず、業廃止を前提とした代替手法の評価となりました。

評価基準は、2年連続未達成の場合は業廃止を前提とした代替手法の検討となっており、3箇

年間も検討がされており、ませんでした。

なお、今年の3月議会の答弁は、「中央循環・

南北ルートの最低需要基準が達成は出来ないが、平成27年度に検証す

る。」との答弁でした。

そこで、今年度中に、未達成ルートの代替手法としてコミュニティバス

を減便し、空白地域解消出来るデマンドタク

シーを導入すべきと思う

がいかがですか。

答弁

平成27年度中に代替手法として、平群町にあった「デマンドタクシー」も含め、検討の中で探っていきます。

救急医療情報

キットにしよう



山本 隆史

質問

救急医療情報キットは65歳以上のひとり暮らしの方を中心に、無償で配布しております。

キットの中には、自分の名前や生年月日、かかりつけの医療機関や服薬

内容、緊急連絡先などの救急情報を用紙に書き込

み冷蔵庫に保管します。

救急隊が出動要請を受け、傷病者から情報を聞き取れない場合には、冷蔵庫から情報キットを見

つけ出し、素早く対処す



ることが出来ます。

命に係わる大切な情報

ですが、救急隊員の方が

懸念されるのは「記載情

報が最新の情報へ更新さ

れているのか。古い情報

だと誤報になる恐れがあ

る」です。

命綱ともいえる記載情

報を更新するために、定

期的なルールを決めて確

認すべきではないでしょ

うか。

答弁

今後、直近の8月広報や町のホームページにおいて、救急医療情報キットの紹介と、適正使用、更新の案内を行います。

また、情報キットを設置後、1年以上経過している利用者の方に更新の案内を通知し、訪問介護・

看護を利用の方へは、各

事業所を通じて訪問時に

更新をしてもらえる様に

要請して行きます。

エアコン設置と トイレの改修の早期実現を



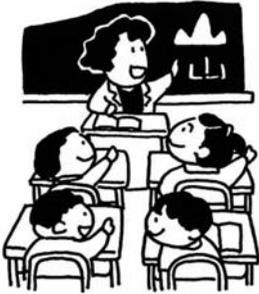
植田いずみ

質問

3月議会でこの問題での請願（賛同署名736筆）が、賛成多数で採択されました。

子ども達が日中の大半を過ごす学校現場で、現在では一般的な家庭に普及している洋式トイレやエアコンが整備をされていません。

最近の異常気象などで教室の気温は35度前後を記録するなど、到底学習に集中出来る環境になることは明らかで、早急



な改善が求められます。

またトイレの改修も早急な改善が求められます。調査でも常に施設改善のトップにあがるのが、トイレの改修です。

生理現象をスムーズに処理できない事は、大きなストレスとなります。そして、何よりも町内の学校施設が同じ環境で学習できる条件を整備することが求められます。

トイレ単独での補助金制度もできていることから、エアコン設置とトイレ改修の年次計画を早急に立てることを求めます。

答弁

エアコンよりもトイレの改修を望む要望が多く聞かれています。現在、財政当局と協議中で、ほぼ原案は出来ている。実効性のある計画を今年度中に立て、来年度予算に反映させていきたい。

モビリティ（セグウェイ等） の実証実験を



井戸 太郎

質問

セグウェイは、世界的大発明として誕生、日常の移動手段として世界中で活躍している。二つの車輪の中央に人が乗り、前のバーを動かすだけで移動できる。コンピューターがバランスをとる。

この斬新なアイデアが世界中で広がり、「セグウェイ式モビリティが多く誕生した。（搭乗型移動支援ロボット）

しかし、日本では道路交



の実証実験を可能にする

と決めた。さて、平群町は財政面で公共交通政策の転換期

にきている。このセグウェイ式が、打開策になりうる。財源的にも、業務提携で格安にレンタルする方法がある。

公共交通の要素、移動補助という福祉の要素、集客という観光的要素、奈良県初という対外的PR要素、4つの大きな要素を含んでいる。小型モビリティの実証実験を検討、実施していただきたい。

答弁

調査研究したい。

耕作放棄地の解消策は



森田 勝

質問

町の基幹産業は農業であり、その重要性は町第5次総合計画でも明記されている。

しかし、農地の宅地化が進み、耕作放棄地が増加すると、町の基幹産業の農業が衰退するのではないかと危惧されるが、町の耕作放棄地対策は、
①町の農業の実態は。
②新規就農者を増し、短期で農業の勉強ができる学校を作ったり、新規就農者の農産品を優先的に



学校給食に採用しては。
③農地を集約するために、町が耕作放棄地を一元管理する農業公社を設立しては。

答弁

①農家は403戸、農業従事者は728人、耕作面積326ha、耕作放棄地75ha、主要農産物(小菊・バラ・ぶどう・イチゴ)の販売額は推計で17億2千万円。

②町内の新規就農者は5名で、新規就農希望者には県が先進農家・農業指導士等で研修する準備型制度を実施している。

また、学校給食への供給は、供給量・時期等の問題があり、町農業振興協議会が窓口になっている。
③耕作放棄地を一元的に管理する窓口を作る事を、町農業委員会等と検討する。

平群の再生へ、小さな声 住民の声です



高幣 幸生

質問

平群の再生・創生は住民の声、色々な声がある。

①町外者が平群駅の降車時、町のイメージ?完成時の駅イメージは。

②嶋左近、長屋王の町と聴き降車、イメージ不足。

③バスに乗車、路線バスは直ぐ判る、コミバスは「南・南北・西山間回り」は判りづらい。

④家や空地の町外持主に對して、固定資産税の納



付書送付時に環境整備の依頼をすべき。
⑤ゆめさこども園は駐車場や歩道が狭く危険だ。

「町長への直通便」メールがある。どんな住民の声が届いているか。

答弁

①駅前の修景は、駅西土地区画組合が設計している。町ではトイレの設置や駅舎の移設に取り組み、町長も近鉄に費用負担を含め申し入れている。

②イメージアップを考えるとPRに努めたい。

③今後、利用者の意見要望を聞き、分りやすいコミバスを目指したい。

④今後、固定資産税等の納付書送付時に環境整備の依頼を検討したい。

⑤こども園駐車場は、保護者の理解を求め、適正な運用を目指したい。

「町長への直通便」メールは私的であるが、今後も声を大事にしたい。

県議長会研修に参加して

去る7月13日、奈良県市町村

会館に於いて、京都大学大学院工学研究科教授で京都大学レジリエンス研究ユニット長として活躍されている藤井 聡(ふじい さとし)氏を迎えて、奈良県町村議会議長会正副議長研修

会が開催されました。

講演では、「列島強靱化論」日本国家繁栄のために」と題して、「国土強靱化とは国家をあげたリスクマネジメントについて、また、地方創生の観点から砂防行政と地域産業の活用

について」等、近年の異常気象により集中豪雨・土砂災害等により防災意識が高まる中、公共政策論・国土計画論を専門分野とされた観点から、国土強靱化計画の重要性など、最近の話題を中心にテレビでは聞けないような核心について話をされました。

下中 記



編集後記

暑中お見舞い申し上げます。毎日暑い日が続いていますが、皆さまお元気でお過ごしでしょうか。

さて、議会だより編集委員も選挙後新しい構成メンバーになりました。

これからも「読みやすい、わかりやすい議会だより」の紙面づくりに取り組んでまいります。今後をご期待下さい。

議会に対するご意見や感想がありましたら、メール等でお寄せください。お待ちしております。

高幣 記



下中議長と編集委員のメンバー

町の話 題



リズムにあわせて心はひとつ

毎年開催の「健康フェスティバル」のオープニング、プリズムへぐりの玄関前で参加者の皆さまを迎える太鼓が竜田川の畔から「ドンドン・カッカ」と鳴り響く。へぐり和太鼓「WA(わ)楽(らく)」です。どんなチームかなと興味津津、代表の松田佳代子さん(上庄・月見台)に尋ねました。

スタートしてから今年で5年目。グループ名「WA(わ)楽(らく)」のWA(わ)は(和・輪)で、なごみ、人の輪を大切にしながら、世代を超えて和太鼓を楽しもうとの事から名づけられた。

今では女性6名、子ども5名のWAができ、4歳児から70歳代まで3世代で一緒に子育て支援センターで練習されている。

「太鼓はリズム感と体の動き、テンポが大事で全身の筋肉が動き、健康へのアクセスにもなります。腕を上げ腰を落とし、足で踏ん張り太鼓に向かう。みんなの心をつなげて全身で力一杯太鼓を叩きます。本番では赤いハッピー姿で足袋を履き、最後のポーズを決めて、お客様に拍手をもらった時の爽快感と達成感は格別です。」と楽しそう。

「太鼓が足りず、子ども用にはタイヤにガムテープを張って練習。もう少し太鼓が増えればメンバーも増えるのに」と少し残念そう。

「これからも細く長く活動を続け、平群の和太鼓といえば「WA楽」と言われるようなグループになりたい。」ときらきら目を輝かせて話されました。

今年は、長寿会50周年・シルバー人材センター10周年イベントに出演。秋には紀氏神社(上庄)のお祭りにも出演予定で、昨年出演の際に、宮司さんからも褒められたそうです。イベント等で出演の依頼があれば、参加していただけたらとのことです。

お問い合わせ 子育て支援センター(46-1211)まで。 高幣 記